



マルサンアイ株式会社

証券コード 2551



『しあわせ株式会社』をめざして

第54期 事業報告書

2004年9月21日から2005年9月20日まで

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第54期（2004年9月21日から2005年9月20日まで）を終了いたしましたので、ここに事業報告書により営業の概況と主要項目につきましてご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2005年12月



しも むら はつ じ
代表取締役社長 下 村 鉢 神

マルサンアイを ご理解していただくために

Q 1 豆乳の今後についてどのように考えていますか？

今後を長いスパンでみると、世界の人口増加に対して食料の供給が間に合わない状況がくると言われています。

そうすると、飼育している家畜等の動物性たんぱく質の供給が追いついていかない。そこで動物性たんぱく質と比べ、単位面積あたりの収穫量が多い植物性たんぱく質がさらに普及するだろうと思います。もちろん動物性たんぱく質はおいしいので、無くなることはありませんが…。

また、現在豆乳は飲むことが主です。ところが牛乳を見てみると、片方では飲む、もう片方ではチーズ、バターを作りますよね。こういう用途の普及、拡大がこれから豆乳の生きる道、というか伸びる道ではないかと思います。

もう少し端的にいうと、牛乳と豆乳の関係をバターとマーガリンに例えた場合、バターとマーガリンでは使い道が違いますよね。マーガリンも昔に比べどんどん味が良くなってきて、バターと同じ位の市場に伸びました。豆乳が牛乳と同じ市場になるかどうかは別にして、どちらも肯定されて伸びてほしいものです。



国産大豆の調製豆乳 200ml



国産大豆の調製豆乳 1L

Q
2

みその今後についてどのように考えていますか？

みそは、このままでは食生活とともに、無くならないけど常時食べるものではなくなるのではないかと思います。

その一つの理由として、みそ汁というものは簡単に作れると言われていますが、みそ汁ほど難しいものはないと考えています。みそ汁を365日同じように同じ味で同じ状況で食べることはまず無いと思います。

それほど難しいものを、みそ屋が伝統食品という伝統の上にあぐらをかいて、みそ汁をやさしく作る工夫をしてこなかった。現在、即席みそ汁の市場は伸びているのに対し、みその市場が減少傾向にあるのは、そういうことではないでしょうか。

また、みそというと隣合わせになっているのがみそ汁ですが、みそを普及するためには、みそイコールみそ汁ではなくて、みそイコールみそ汁を含めた色々なみそ料理を提案していくのが今後のみそ屋の仕事だと考えています。



本場赤だし



味の饗宴 無添加生

Q
3

これから商品開発の展望を聞かせてください。

みそでも豆乳でもそれからどんなものでも言えることですが、他の会社の真似をしないことです。

現在さまざまな製品の試作を行っていますが、やはり他のメーカーさんもみそ屋さんはみそ関連のものを、豆乳屋さんは豆乳関連のものと同じような新しい商品を考えて開発しようとしていると思います。我々は新しい商品、技術をいかに早く確立するかが重要だと考えています。

また、我々は大豆にこだわっている訳だから、「なるほど大豆屋が出したものだな」と皆さんが納得していただけるものを、みそでも豆乳でも作っていかなければいけないと思います。

大豆屋としての姿勢が見られるもの、これが一番大事ですよね。

沿革

1952年3月	資本金150万円で岡崎醸造(株)設立。
1964年9月	社名を岡崎マルサン(株)に改称。ミックスみそ発売。
1968年10月	全国酒類調味食品品評会において、業界初のダイヤモンド賞を受賞。
1970年11月	全国味噌工業協同組合主催、全国味噌品評会で農林大臣賞を受賞。
1971年6月	資本金を4,500万円に増資。
1972年3月	本社工場を現所在地(岡崎市仁木町)に建設完工し、旧工場より移転。純正こうじみそ発売。
1980年4月	本社内に豆乳工場を完成。資本金を1億8,000万円に増資。
1983年1月	社名をマルサンアイ(株)に改称。資本金2億3,000万円に増資。
1985年6月	米国での合弁会社アメリカン・ソイ・プロダクツINC.を設立し、豆乳の生産を開始。
1992年7月	(株)匠美設立。
1997年2月	豆乳に最も適した乳酸菌と酵母の複合発酵で、業界初となる植物性発酵飲料を開発、発売。
1998年3月	資本金を5億1,314万円に増資。
2000年8月	資本金を5億2,364万円に増資。
2001年6月	名古屋証券取引所市場第二部上場。資本金5億6,214万円に増資。
2001年9月	ISO9001認証取得。(範囲:豆乳の開発・設計及び製造)
2003年6月	オカラ加工設備を備えた豆乳工場新館完成。
2003年12月	(株)玉井味噌の株式を取得。(子会社化)
2004年3月	群馬県利根郡月夜野町に関東工場(豆乳工場)を新設。
2004年9月	みそ工場においてもISO9001認証取得。

株主優待アンケートの結果について

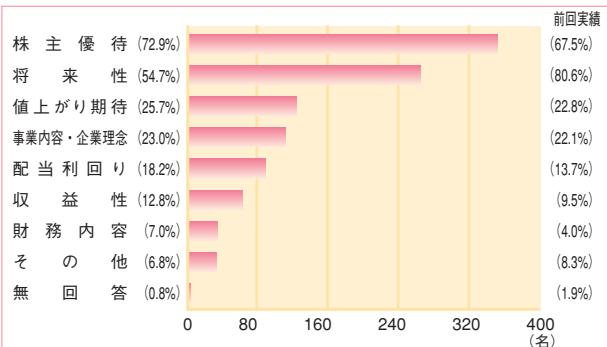
2005年6月に株主優待をお送りした際に同封させていただきましたアンケートの結果の一部をご報告させていただきます。

株主の皆様のご協力により、今回もたくさんのご回答(42.7%)をいただきました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

1. 当社株式に投資された理由は何ですか？ (複数回答)

コメント

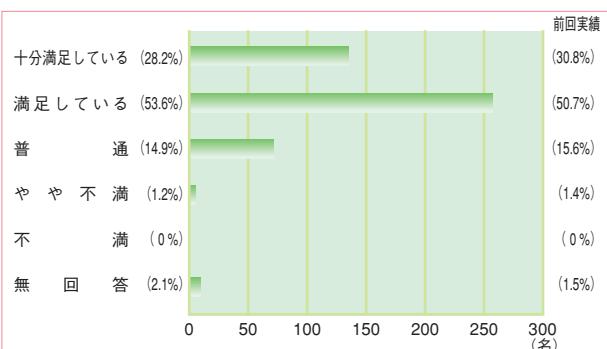
株主優待をより充実するよう検討いたします。



2. 株主優待の商品に満足されていますか？

コメント

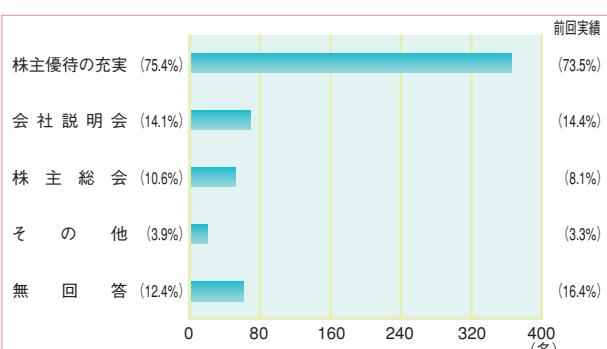
今後も皆様のご期待に応えられるよう努力いたします。



3. 今後希望される株主向けIR活動は何ですか？ (複数回答)

コメント

より良い企業を目指しIR活動に力を注いでいきます。



営業の概況及び見通し(連結)

当期の概況

当期の業績は、景気回復の兆しが見られるものの、厳しい経営環境が続く中、豆乳の出荷が引き続き堅調だったため売上高は、197億8百万円（前期比5.7%増）となりました。営業利益は、7億89百万円（前期比23.1%減）、経常利益は、6億59百万円（前期比22.4%減）、当期純利益は、3億43百万円（前期比12.1%増）の増収減益となりました。

次期の見通し

今後の経済情勢につきましては、景気は回復基調にあるものの、原油価格高騰による経済への影響が懸念され、増税や年金問題を背景とした将来不安から個人消費の大幅な拡大は期待できず、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

当社グループにおきましては、原油価格の上昇に伴う影響で電力代や石油関連資材等のコストアップが懸念されております。

また、食の安全・安心に対する消費者ニーズの高まりの中、コンプライアンス（法令遵守）については、重要な経営課題のひとつであり、社内におけるコンプライアンス体制を確立して、法令遵守に努めてまいります。

みそ事業に関しましては、業界全体として出荷量が漸減傾向にある中で、今後はみそ汁としてのみそだけでなく、調理みその多角化を図りながら、醸酵調味料としてのみそを普及させてまいります。

今後も引き続き環境、品質、安全、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心できる製品作りを目指していく所存であります。

2006年9月期の見通しにつきましては、売上高206億50百万円（前期比4.8%増）、営業利益9億45百万円（前期比19.8%増）、経常利益7億36百万円（前期比11.6%増）、当期純利益4億2百万円（前期比17.1%増）を見込んでおります。

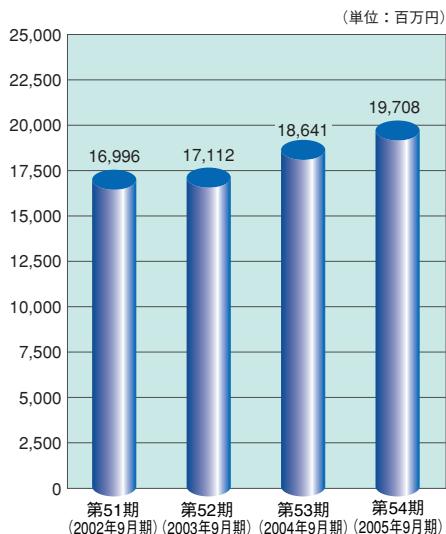
連結業績

(単位：百万円)

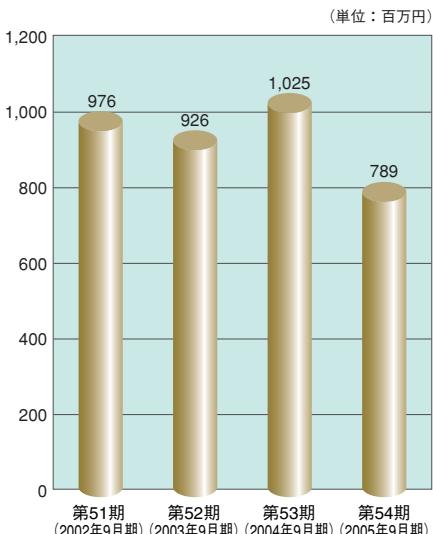
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2006年9月期予想 (前期比)	20,650 (4.8%増)	945 (19.8%増)	736 (11.6%増)	402 (17.1%増)
2005年9月期実績	19,708	789	659	343
2004年9月期実績	18,641	1,025	849	306

財務データ(連結業績)

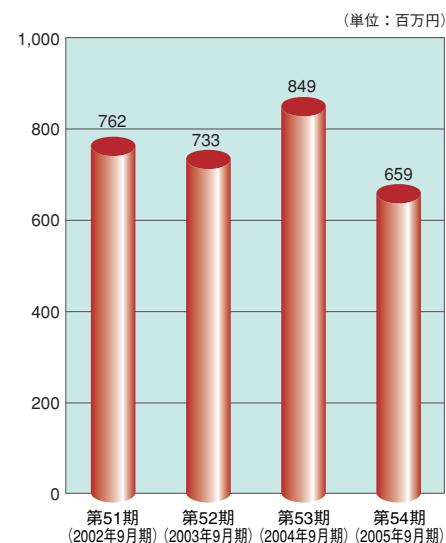
売上高



営業利益



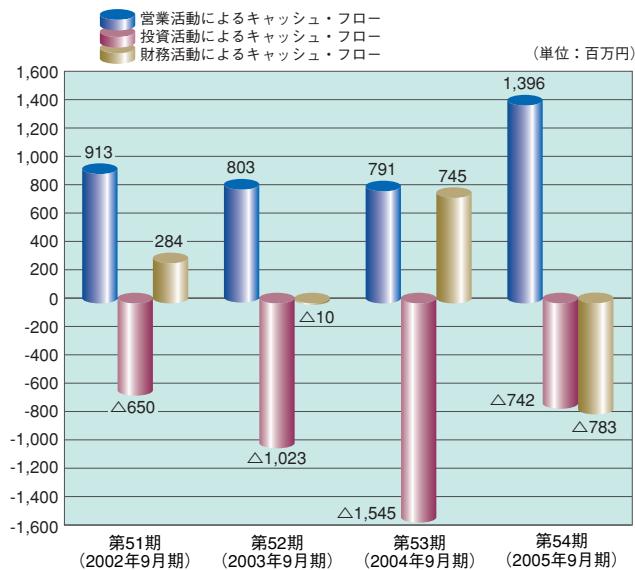
経常利益



当期純利益



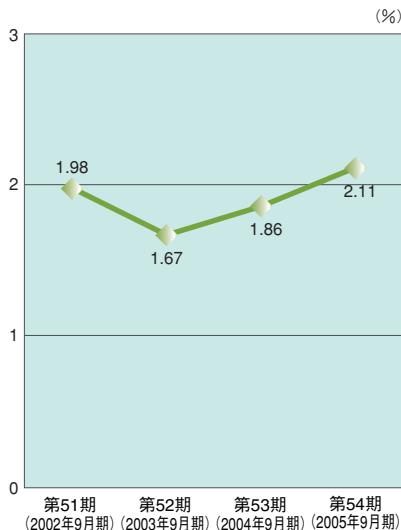
— キャッシュ・フロー —



— 株主資本当期純利益率(ROE) —



— 総資本当期純利益率(ROA) —



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2005年 9月20日現在	2004年 9月20日現在	科 目	2005年 9月20日現在	2004年 9月20日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	6,967	7,484	流動負債	7,490	8,519
現金及び預金	729	858	支払手形及び買掛金	2,302	2,463
受取手形及び売掛金	3,958	4,666	短期借入金	2,492	3,397
棚卸資産	1,269	1,203	未払法人税等	197	213
繰延税金資産	378	346	賞与引当金	428	421
その他の	637	415	未払金	1,340	1,417
貸倒引当金	△ 5	△ 5	その他の	729	605
固定資産	9,335	9,083	固定負債	6,194	5,601
有形固定資産	7,524	7,223	社債	800	800
建物及び構築物	2,505	2,389	長期借入金	3,602	3,315
機械装置及び運搬具	2,320	2,140	退職給付引当金	1,342	1,140
土地	2,620	2,620	役員退職慰労引当金	166	174
建設仮勘定	4	11	繰延税金負債	10	10
その他の	72	61	その他の	271	160
無形固定資産	30	33	負債合計	13,684	14,120
投資その他の資産	1,781	1,826	少数株主持分	—	7
投資有価証券	858	1,000	少数株主持分	—	7
繰延税金資産	637	549	資本の部		
その他の	285	297	資本金	562	562
貸倒引当金	△ 0	△ 21	資本剰余金	361	361
資産合計	16,302	16,567	利益剰余金	1,783	1,529
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。			株式等評価差額金	17	9
			為替換算調整勘定	△ 21	△ 21
			自己株式	△ 84	△ 1
			資本合計	2,617	2,439
			負債、少数株主持分及び資本合計	16,302	16,567

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年 9月期	2004年 9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,396	791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 742	△ 1,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 783	745
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 0
現金及び現金同等物の減少額	△ 131	△ 9
現金及び現金同等物の期首残高	754	763
現金及び現金同等物の期末残高	622	754

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年 9月期	2004年 9月期
売 上 高	19,708	18,641
売 上 原 価	13,447	12,288
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,471	5,326
營 業 利 益	789	1,025
營 業 外 収 益	112	90
受 取 利 息 配 当 金	11	11
そ の 他	100	78
營 業 外 費 用	242	266
支 払 利 息	175	190
た な 鈞 資 産 処 分 損	29	27
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	21	0
そ の 他	16	47
經 常 利 益	659	849
特 別 利 益	0	16
固 定 資 産 売 却 益	0	—
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0	—
厚 生 年 金 基 金 清 算 剰 余 金	—	16
特 別 損 失	143	205
固 定 資 産 売 却 損	3	0
固 定 資 産 除 却 損	12	68
固 定 資 産 減 損 損 失	—	10
投 資 有 價 証 券 評 價 損	0	—
退 職 給 付 会 計 基 準 変 更 時 差 異 債 却 額	126	126
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	516	661
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	355	443
還 付 法 人 税 等	△ 49	—
法 人 税 等 調 整 額	△ 126	△ 83
少 数 株 主 損 失	△ 7	△ 6
当 期 純 利 益	343	306

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書のPoint

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費696百万円、売上債権の減少額727百万円等により、1,396百万円（前期比76.4%増）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入153百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出△866百万円が大きく影響し、△742百万円（前期△1,545百万円）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の純減少額△611百万円、自己株式の取得額△83百万円等により、△783百万円（前期745百万円）となりました。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2005年 9月20日現在	2004年 9月20日現在	科 目	2005年 9月20日現在	2004年 9月20日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	6,831	7,231	流動負債	7,331	8,060
現金及び預金	722	848	支 払 手 形	1,265	1,439
受取手形	227	313	買 掛 金	946	924
売掛金	3,572	4,175	1年以内返済予定長期借入金	2,483	3,124
商品	10	3	未 払 金	1,260	1,355
製品	333	264	未 払 法 人 税 等	190	187
原材料	360	333	未 払 消 費 税 等	49	32
仕掛品	439	476	未 払 費 用	175	177
貯蔵品	71	47	賞 与 引 当 金	414	406
前渡	78	41	設 備 支 払 手 形	419	391
前払費用	117	74	そ の 他	126	20
繰延税金資産	374	338	固 定 負 債	6,157	5,573
未収入金	436	307	社 債	800	800
短期貸付金	80	—	長 期 借 入 金	3,578	3,278
その他	11	13	退職給付引当金	1,340	1,138
貸倒引当金	△ 5	△ 5	役員退職慰労引当金	166	162
固定資産	9,238	8,779	長 期 設 備 支 払 手 形	86	54
有形固定資産	7,514	7,198	預り保証金	67	64
建築物	1,778	1,645	債務保証損失引当金	—	33
構築物	643	652	そ の 他	116	42
機械装置	2,269	2,086	負 債 合 計	13,488	13,633
車両運搬器具	6	0	資本の部		
工具器具備品	72	61	資 本 金	562	562
土地	2,740	2,740	資本余金	361	361
建設仮勘定	4	11	資本準備金	309	309
無形固定資産	29	33	その他資本余金	51	51
借地権	7	7	自己株式処分差益	51	51
ソフトウェア	12	13	利益剰余金	1,724	1,445
電話加入権	8	8	利 润 準 備 金	111	111
その他	1	3	任 意 積 立 金	489	489
投資その他の資産	1,693	1,547	別 途 積 立 金	489	489
投資有価証券	574	693	当 期 未 处 分 利 益	1,124	845
子会社株式	83	83	株式等評価差額金	17	10
出資資金	2	2	自 己 株 式	△ 84	△ 1
長期貸付金	215	38	資 本 合 計	2,580	2,377
長期営業債権	0	6	負 債 及 び 資 本 合 計	16,069	16,011
長期前払費用	109	94			
繰延税金資産	615	517			
保険積立金	112	105			
差入保証金	46	45			
その他	4	4			
貸倒引当金	△ 33	△ 6			
子会社投資損失引当金	△ 36	△ 36			
資 产 合 計	16,069	16,011			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2005年9月期	2004年9月期
売 上 高	19,134	17,962
売 上 原 価	13,126	11,871
売 上 総 利 益	6,008	6,090
販 売 費 及び 一 般 管 理 費	5,249	5,098
営 業 利 益	758	992
営 業 外 収 益	129	120
営 業 外 費 用	215	257
経 常 利 益	671	854
特 別 利 益	0	16
特 別 損 失	143	259
税 引 前 当 期 純 利 益	528	612
法人税、住民税及び事業税	349	415
還 付 法 人 税 等	△ 49	—
法 人 税 等 調 整 額	△ 139	△ 94
当 期 純 利 益	368	291
前 期 繰 越 利 益	755	553
当 期 未 処 分 利 益	1,124	845

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：円)

科 目	2005年9月期	2004年9月期
当 期 未 処 分 利 益 の 処 分		
当 期 未 処 分 利 益	1,124,270,871	845,053,561
処 分 額		
利 益 配 当 金	88,956,070 (1株につき8円50銭)	79,337,550 (1株につき7円50銭)
取 締 役 賞 与 金	4,900,000	9,100,000
監 察 役 賞 与 金	600,000	900,000
次 期 繰 越 利 益	1,029,814,801	755,716,011
そ の 他 資 本 剰 余 金 の 処 分		
そ の 他 資 本 剰 余 金	51,562,181	51,562,181
そ の 他 資 本 剰 余 金 次 期 繰 越 額	51,562,181	51,562,181

トピックス

2004年11月

● **2004年9月期決算説明会を開催。**

アナリスト、機関投資家の方々に対して開催いたしました。



2004年12月

● **アナリスト協会にて会社説明会を開催。**

(名証IRエキスポ in Tokyo)

アナリスト、機関投資家の方々に対するIRを実施いたしました。

2005年2月

● **IRセミナーを開催。**

テレピアホール（名古屋）にて開催いたしました。408名の熱心な個人投資家の方々を迎え、盛況にとり行われました。



2005年2月

● **自己株式の買付けを行いました。(111,000株)**

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため買付けを行いました。

2005年3月

● **「愛知ブランド」認定取得。**

愛知県では本県製造業の実力をさらにアピールし、愛知のものづくりを世界のブランドにするために、愛知ブランドとして発信していきます。

(愛知ブランドホームページより抜粋)



2005年 5月

● **中間決算説明会を開催。**

アナリストの方々を対象に東京にて行いました。



2005年 6月

● **愛・地球博にてお料理教室を開催。**

愛・地球博のわんぱく宝島「わくわくキッチン」のコーナーにおいて豆乳とみそを使用したお料理教室を開催いたしました。



2005年 7月

● **会社説明会を開催。**

個人投資家の方々を対象に名古屋にて行いました。



2005年 7月

● **関東工場にて見学会を実施。**

群馬県の関東工場にてアナリストの方々を対象に豆乳の工場見学会を行いました。



2005年 7月

● **本社工場にて工場見学会を実施。**

本社工場にてアナリストの方々を対象にみそと豆乳の工場見学会を行いました。



2005年 7月

● **会社説明会を開催。**

個人投資家の方々を対象に東京にて行いました。



2005年 7月

● **会社説明会を開催。**

個人投資家の方々を対象に名古屋にて行いました。

●味の饗宴 昆布ほたてだし入り（リニューアル）



小売参考 451円

荷 姿 750g×6

かつお節風味の強い一般的なだし入りみそとは違い、だし素材のメインに昆布だしを使用し、補完にほたてだしを使うことで、まろやかさとコクを両立しました。みそ汁ばかりでなく、他のみそ料理全般に合わせやすい味わいのだし入りみそです。

●本場赤だし（リニューアル）

小売参考 525円

荷 姿 500g×6

豆みそのクセ味、渋味を抑えて、かつおの天然だしをきかせた高級赤だしみそです。風味豊かなかつおだしと昆布だしをバランス良くきかせました。

みそを取り出しやすいイージーキャップを使用し、パッケージを高級感のある金色に変更しました。



●名古屋流 みそキムチ鍋スープ

小売参考 348円

荷 姿 800g×12

本場韓国産コチュジャン、中国浙江省産ラー醤、コクと旨みの強い三州産豆みそをブレンドし、こくのある辛口タイプのストレート鍋スープに仕上げました。みそ煮込みうどん風に玉子で仕上げるのが決め手です。



●今夜は鍋 とり野菜鍋

小売参考 189円

荷 姿 180g×10×4

じっくり熟成させた本格派の粒タイプの米みそ（マルサン純正こうじ）を100%使い、チキンオイル、おろしニンニクを配合し、唐辛子で味にアクセントをつけました。

鶏肉とたっぷりの野菜でヘルシーな鍋料理が簡単に味わえる希釀タイプの鍋用調理みそです。





●国产大豆の調製豆乳 200ml

小売参考 105円

荷 姿 200ml×24

コレステロール低下作用が確認された特定保健用食品の調製豆乳です。

国产大豆を使用し、乳化剤、糊料、香料などを使用しておりません。大豆固形分9%以上の濃厚タイプながら、サラッとしたおいしさに仕上げました。

●国产大豆の調製豆乳 1L

小売参考 336円

荷 姿 1000ml×6

コレステロール低下作用が確認された特定保健用食品の調製豆乳です。

国产大豆を使用し、乳化剤、糊料、香料などを使用しておりません。大豆固形分9%以上の濃厚タイプながら、サラッとしたおいしさに仕上げました。

お得な1000mlサイズです。



●しみ込む豆乳飲料

小売参考 189円

荷 姿 125g×30

ライフスタイルや目的に合わせ、さまざまな大豆の健康効果をご活用いただけるよう開発した通信販売限定商品です。

当社調製豆乳と比較してイソフラボン、オリゴ糖、レシチンは約2倍、カルシウムは約3倍と強化いたしました。

●豆乳仕立て 鶏白湯鍋スープ

小売参考 348円

荷 姿 800g×12

愛知県「奥三河鶏」の鶏ガラエキス、肉の味を引き立てるドイツ産岩塩を使用し、有機栽培大豆使用の豆乳で仕上げた、化学調味料不使用のストレートタイプの鍋スープです。

また、海洋コラーゲン入りで、より女性にうれしい鍋スープです。



大豆の 栄養について

①大豆のたんぱく質は良質な植物性たんぱく質です。

大豆に含まれているたんぱく質は、植物性たんぱく質の中では最も動物性たんぱく質に近い良質のたんぱく質です。すなわち消化吸収がよく、体内で利用されやすいものです。

②今、大豆イソフラボンが注目されています。

大豆の中には大豆イソフラボンが豊富に含まれています。大豆イソフラボンは、フェノール化合物の一種で、抗酸化性を持ち、体内では弱い女性ホルモンに似た働きにより、骨のカルシウムが減らないような働きをしています。また、最近の疫学的研究では、日本人や中国人の乳がん罹患率が西欧人より低いのは、大豆食品の摂取による大豆イソフラボン摂取量が多いからと言われています。

③様々なミネラルが豊富に含まれています。

大豆はカルシウムを多く含む食品です。カルシウムは、骨の重要な構成元素であり、また、筋肉の収縮や神経伝達に関与しております。鉄分も比較的多く含まれ、体内では酸素供給に重要な働きをしています。その他マグネシウム、亜鉛、マンガン、リン、銅など体内で様々な働きをする微量成分を豊富に含んでいます。

④ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンK、ビタミンEを含んでいます。

大豆にはビタミンB群のビタミンが豊富に含まれています。老化防止ビタミンと言われるビタミンEも豊富です。

⑤コレステロールや乳糖を含んでいません。

大豆の脂肪の中には、コレステロールは含まれておりません。また、乳糖を含んでいませんので、豆乳を飲んだ時に牛乳のようにおなかがゴロゴロすることはありません。

料理レシピのご案内

当社の製品を利用した料理レシピをご紹介させていただきます。

人参ごはんみそ風味



ポイント シンプルな具を組み合せみその味、香りが楽しめる料理です。

材料 4人分 (エネルギー…383kcal、調理時間…60分、単価…343円)

●米	320g	●こうじみそ	36g (大さじ2)
●昆布だし汁	400cc	●しょうゆ	大さじ1
●豚肉	80g	●みりん	大さじ1
●人参	200g (1本)	●酒	大さじ1
●こんにゃく	100g (1/2枚)	●サラダ油	
●青ねぎ	10g		

◆米は洗米し水気を切り、だし汁に30分浸し吸水させておく。◆豚肉は食べやすい大きさに切る。◆人参は短冊切りにする。◆こんにゃくは水から下茹でし短冊切りにする。◆aは混ぜ合わせておく。

作り方

- ①フライパンに油を熱し、豚肉を炒め色が変わったら人参、こんにゃくを加え強火で炒める。aを加えてひと煮立ちしたら火を止め粗熱をとる。
- ②吸水させた米の上に①をのせ炊き蒸らす。
- ③②を茶碗に盛り青ねぎを散らす。

豆乳とみそのお雑煮



ポイント みその香りに豆乳のコクが加わり旨味が更に増します。

材料 4人分 (エネルギー…441kcal、調理時間…35分、単価…662円)

●切り餅	200g (4切れ)	●白ねぎ	50g (1/3本)
●油揚げ	240g (8枚)	●みつば	4本
●スパゲティー	6cm位のもの8本	●だし汁	600cc
●大根	80g	●こうじみそ	72g (大さじ4)
●人参	18g	●豆乳	250cc
●生椎茸	40g (2枚)		

◆大根、人参は4cm長さのせん切りにし、水にさらし水気をきっておく。◆生椎茸、白ねぎはせん切り、みつばはざく切りにする。◆油揚げは、油抜きして半分に切り袋状にする。◆餅は1切を2つに切る。

作り方

- ①油揚げの中に餅、具を詰めスパゲティーで口を止める。
- ②鍋にだし汁、①を入れ中火で4~5分煮る。一度具を取り出して煮汁で溶きのばしたみそを半量加える。
- ③②にせん切り野菜を加えひと煮立ちさせる。
- ④③に豆乳、残りのみそを加え煮立ったらみつばを加える。

会社の概況

2005年9月20日現在

- 商 号 マルサンアイ株式会社
(英訳名: MARUSAN-AI Co., Ltd.)
- 設 立 1952年(昭和27年)3月
- 主要な事業内容 大豆を主原料とする「みそ」、「豆乳」、無菌充填技術を活かした「飲料」、その他食品の製造販売。
- 資 本 金 562,144,000円
- 従業員の状況 367名
- 役 員 (2005年9月21日現在)

代表取締役社長		下 村 銀 爾
常務取締役	開発・マーケティング担当	小 川 倭
常務取締役	営業担当	鍋 田 紘 一 郎
常務取締役	管理担当	鈴 木 擴 司
常務取締役	生産担当	青 木 春 雄
取締役	営業担当部長	小 柳 忠 義
取締役	製造部長	三 浦 里 美
取締役	経理財務部長	大 河 内 宣 久
取締役相談役	工場戦略、アメリカン・ソイ・プロダクツINC.担当	岩 月 博 保
常勤監査役		鈴 木 治 夫
監査役		畠 部 泰 則
監査役		新 井 一 弘

- 事 業 所 (2005年9月21日現在)



本社・工場



関東工場

本社／工場
大門工場
関東工場

西日本営業部
名古屋統括支店
北陸営業所
静岡支店
三河支店

三重支店
大阪支店
中国支店
九州支店

東日本営業部
東京支店
東北支店
北関東支店

子会社・関連会社紹介

2005年9月20日現在

株式会社匠美 たくみ

所在 地：富山県中新川郡立山町

設 立：1983年（昭和58年）8月

資 本 金：38,000,000円

従 業 員：12名

事業内容：水の製造販売



株式会社玉井味噌

所在 地：長野県東筑摩郡筑北村

設 立：1973年（昭和48年）9月

資 本 金：45,000,000円

従 業 員：10名

事業内容：みその製造販売



アメリカン・ソイ・プロダクツINC.

所在 地：Saline, Michigan U.S.A

設 立：1985年3月

資 本 金：49,000米ドル

従 業 員：33名

事業内容：豆乳、飲料及び調味類の製造販売

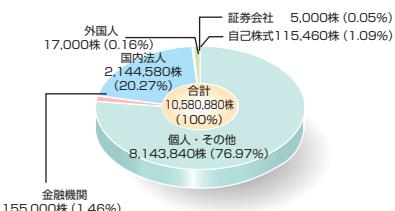


株式の状況 2005年9月20日現在

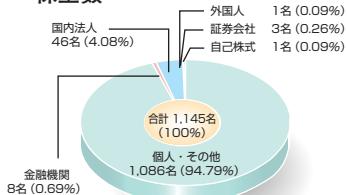
- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 10,580,880株
- 株 主 数 1,145名 (前年末比52名減)
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	議決権比率
株式会社佐藤産業	1,525,300 株	14.61 %
マルサンアイ従業員持株会	777,900	7.44
佐藤公信	695,420	6.66
中島典子	426,830	4.08
福島裕子	426,830	4.08
佐藤不二子	416,300	3.99
下村鉢爾	265,000	2.54
石田ちゑ	248,280	2.38
中島治夫	169,800	1.62
福島重喜	169,800	1.62

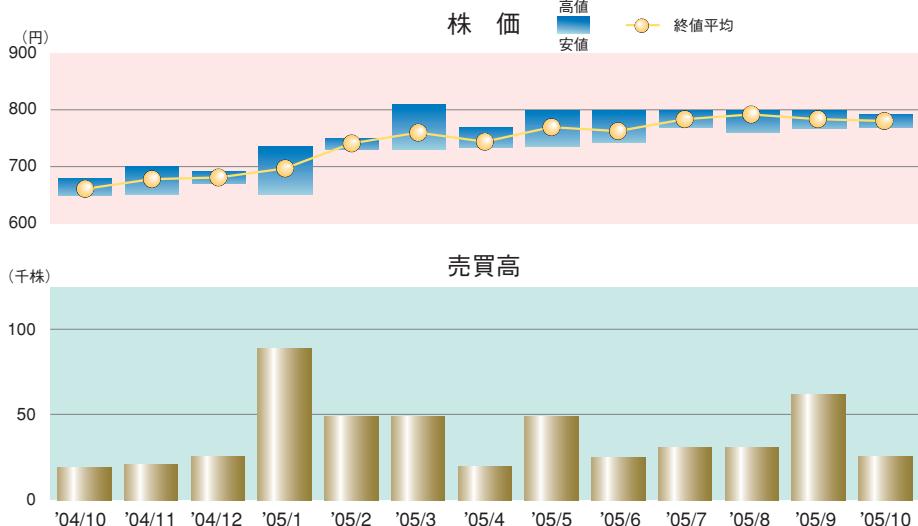
● 株式数



● 株主数



● 株価等の推移



株主メモ

決 算 期	毎年9月20日
定時株主総会	毎年12月
利益配当金受領	9月20日
株主確定日	なお、中間配当を実施する時の中間配当金受領株主確定日は、3月20日であります。
公 告 の 方 法	電子公告 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス http://www.marusanai.co.jp/
貸借対照表及び 損益計算書の ホームページアドレス	http://www.marusanai.co.jp/
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部（証券コード：2551）
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（ <small>（〒460-8685）</small> 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 <small>（052）262-1520（代）</small>
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の 買取請求場所	名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所 (株式会社証券保管振替機構に預託されている単元未満株式については、 お取引の証券会社等にお申し出下さい。)

《お知らせ》
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

● 株主優待のお知らせ ●

毎年9月20日及び3月20日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、当社製品（定価3,000円相当）を毎年11月及び5月に贈呈いたします。



2005年11月株主優待

■ 本資料のうち、業績予想等に記載されている予想数値は、本資料の作成日において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料作成日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

IRポリシー

1. IR活動の基本姿勢

当社は、株主・投資家・取引先・地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様に対し、正確でわかりやすい企業情報を公平かつ迅速に発信することに努め、当社に対する理解を促進し、信頼と適正な評価を得ることを目指します。IR活動では、一部の特定の方に対し、特定の情報を開示することはいたしません。また、トップマネジメント自らが積極的にIR活動を推進いたします。

2. 情報開示の基準

当社は、重要な情報につきましては、証券取引法等の諸法令ならびに名古屋証券取引所の定める適時開示規則に則って適宜迅速な情報開示を行っております。また、発表する対象者によって情報の格差が出来ないように公平性の確保に努めます。

3. 情報開示の手段

適時開示規則に該当する情報の開示は適時開示情報伝達システム（TDnet）を利用して開示することに加え、当社のホームページにおいても速やかに掲載することによって情報開示の即時性、公平性を目指しております。

4. 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中には、「将来の見通しに関する記述」が含まれている場合がありますが、これらの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

また、当社は第三者によるいかなる業績予測を支持することをいたしません。

5. 株価情報について

当社ウエブサイトで公開している株価情報は、Yahoo! JAPANの株価情報提供のウエブサイトへリンクするものであり、当社が自ら提供する情報ではなく、その内容を保証するものではない旨、あらかじめご了承願います。

6. 自粛期間について

当社では、決算発表資料準備期間中に株価に影響のある情報が漏洩することを防ぐため、決算日（半期、四半期決算を含む）から決算発表までの期間を「自粛期間」とし、決算に関するコメントや質問への回答は控えさせていただきます。ただし、「自粛期間」中に重要な事実が発生した場合については、適時、情報開示を行います。



マルサンアイ株式会社

本社／〒444-2193 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

TEL (0564) 27-3700 FAX (0564) 27-3721